

第3回 南部町地域のあり方検討委員会次第

日 時 令和7年12月1日(月)

15:00～17:00

場 所 キナルなんぶ多目的ルーム

1 開会

2 南部町地域づくりアドバイザーあいさつ

3 議事

- (1) 第2回ふりかえり
- (2) 今後の検討スケジュールについて
- (3) 「地域のあり方基本方針」(案)の骨子と関連情報について
- (4) 「地域のあり方基本方針」(案)に関するグループ協議
- (5) 全体討議
- (6) その他

4 連絡

5 閉会

【配布資料】

資料1・・・検討スケジュール

資料2・・・南部町地域ビジョン(素案)

資料3・・・第2回ワークショップ結果

令和7年度 南部町地域のあり方検討会スケジュール

年	時期	項目
令和7	9月29日(月)	第1回検討会 現状報告, 論点整理, 意見交換
	10月27日(月)	第2回検討会 団体紹介, 論点別意見交換
	12月1日(月)	第3回検討会 基本方針案の検討
令和8	1月26日(月)	第4回検討会 基本方針の策定

<基本方針のイメージ>

○目的

南部町における地域のあり方に関する基本方針を定める

○期間

- ・ 検討期間：令和7(2025)年度～令和8(2026)年度
- ・ 準備期間：令和9(2027)年度～令和10(2028)年度
- ・ 実行期間：令和11(2029)年度～令和20(2038)年度
(10年間)

○仕様：A4用紙4枚程度(A3見開き両面)

○内容：地域の魅力と課題, ミッション, ビジョン, バリュー, ターム等

令和8年度 南部町地域のあり方検討会スケジュール

年	時期	項目
令和8	5月 日 ()	第5回検討会 地域振興協議会のあり方
	7月 日 ()	第6回検討会 集落のあり方
	8月 日 ()	第7回検討会 基本計画案の検討
	10月 日 ()	第8回検討会 基本計画の策定

<基本計画のイメージ>

○目的

南部町における地域のあり方に関する基本計画を定める

○期間

- ・ 検討期間：令和7（2025）年度～令和8（2026）年度
- ・ 準備期間：令和9（2027）年度～令和10（2028）年度
- ・ 実行期間：令和11（2029）年度～令和20（2038）年度
（10年間）

○仕様：A4用紙16枚程度（その他、資料編を策定）

○内容：地域づくり，関係づくり，健康づくり，人づくりの
基本方針に基づく具体的内容

3 地域の持続に向けた具体的方策

(1)コミュニケーションの深化による誰もが情報を共有しあえる地域

- ①
- ②
- ③
- ④

(2)多様な主体の参画により農業生産が継続し里地里山が保全された地域

- ①
- ②
- ③
- ④

(3)地域ぐるみで住民の健康を維持し、誰もが生涯活躍できる地域

- ①
- ②
- ③
- ④

(4)子ども・若者を中心に据え、子育てしやすく学び続けられる地域

- ①
- ②
- ③
- ④

4 求められる環境整備

(1)情報共有と発信を担う人や組織の整備

(2)地域づくりを担う人材の育成

(3)活動を支援する資金の確保

南部町地域ビジョン

～誰もが「幸せな生き方」をデザインできる地域～



「南部町地域ビジョン」とは、将来における地域のあるべき姿を明らかにし、住民、事業所、NPO、行政など、多様な主体が共通の目標に向かい、一体となって進める地域づくりの基本的な考え方を定めたものです。

「人と自然が響き合い ともに創る なんぶ暮らし」の実現に向けて、地域が一体となり、地域資源の活用や地域課題を解決し、持続可能な地域の構築を目指します。

令和8年(2026年3月)

鳥取県南部町

1 南部町の魅力と課題

(1)南部町の魅力

南部町には、多くの魅力がありますが、ここでは以下の通り4つのカテゴリで整理します。

(1)地域を愛する住民と地域づくりを担う多様な主体

- ・地域振興協議会, NPO法人なんぶ里山デザイン機構, JOCA南部, スポnetなんぶ, SANチャンネル, 高校生サークル, 新☆青年団など

(2)悠久の時を経て里人が紡いできた里地里山

- ・重要里地里山, 農業(稲作, 果樹など), 生物多様性, 伝統文化・行事など

(3)地域で安心して暮らせる医療福祉環境

- ・西伯病院, ゆうらく, しあわせ, いくら郷, まちの保健室, あいのわ銀行など

(4)地域と一体となった学校教育・社会教育と生涯活躍のまち

- ・コミュニティ・スクール, まち未来科, ミカエルセミナー, 生涯活躍のまちづくりなど

(2)南部町の課題

南部町には、魅力とともに課題も多く存在しています。以下の4つのカテゴリで整理します。

(1)人口減少と少子化・高齢化

- ・住民相互のコミュニケーション不足, 困難な地域コミュニティの維持, 高齢者単身・夫婦世帯の増加, 地域での見守り活動などの負担増加など

(2)地域産業の振興や里地里山の保全

- ・農業生産の担い手不足・後継者育成, 里地里山を保全する人の減少など

(3)地域医療・地域福祉の維持

- ・地域包括ケアシステムの確立, 地域福祉の担い手不足など

(4)育成された人材の地域における活躍

- ・コミュニティスクールの枠を超えた子ども・若者の活躍など

2 求められる地域像

■求められる地域像:ミッション

地域の魅力を活かし、誰もが「幸せないきかた」をデザインできる地域

■地域のあるべき姿:ビジョン

- (1)コミュニケーションの深化による誰もが情報を共有しあえる地域
- (2)多様な主体の参画により農業生産が継続し里地里山が保全された地域
- (3)地域ぐるみで住民の健康を維持し、誰もが生涯活躍できる地域
- (4)子ども・若者を中心に据え、子育てしやすく学び続けられる地域

■基本方針:バリュー

(1)地域づくり

主体を地域住民, 行政, 関係人口(他出子+ふるさと住民等)の三者協働による地域づくり

(2)関係づくり

集落と地域振興協議会の役割分担とネットワーク型コミュニティの関係構築

(3)健康づくり

保健・医療・福祉の有機的な連携による南部町版地域包括ケアシステムの継続

(4)人づくり

地域協働学校を基盤とし、子どもも大人も育つ地域

■計画期間:ターム

・令和11年度(2029年度)~令和20年度(2038年度) 第3次総合計画の期間

・前期:令和11年度(2029年度)~令和15年度(2033年度) 5年間 /

・後期:令和16年度(2034年度)~令和20年度(2038年度) 5年間 /

・第3次総合振興計画の内容に合わせて計画を見直す /

・前期5年が終了した時点で後期5年の計画を策定する /

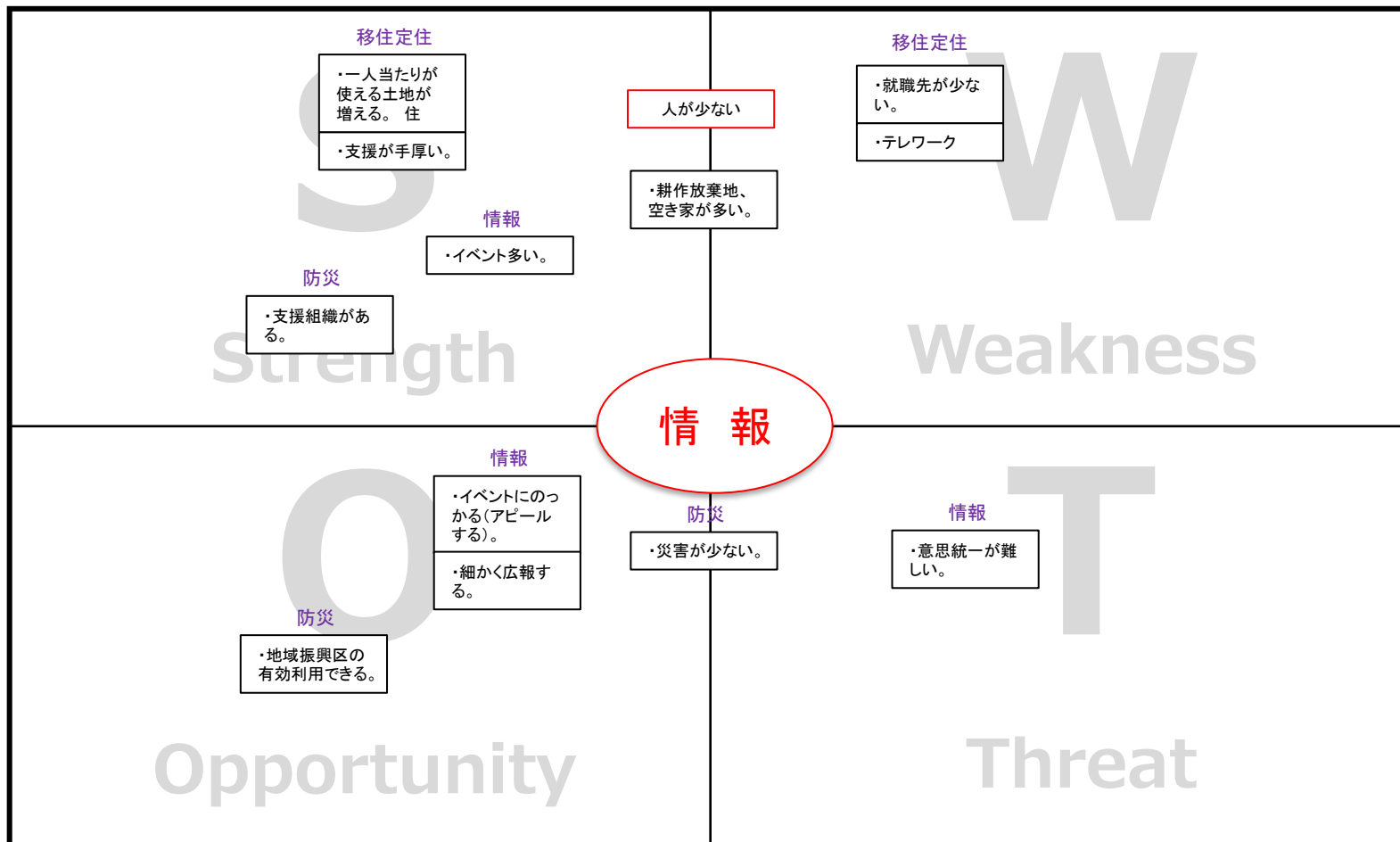
検討テーマ：①自治・防災・情報・移住定住

南部町の「強み」

南部町の「弱み」

現状分析

可能性分析



「強み」を伸ばし「弱み」を改善するためにできること

具体的に実行していくために検討すべき課題

2025年度 南部町地域のあり方検討委員会 第2回

検討テーマ：②産業・観光・インフラ・環境

南部町の「強み」

南部町の「弱み」

現状分析

現状分析	インフラ	産業	環境	産業	環境	
	<ul style="list-style-type: none"> 交通の便がよい(米子に出る)。 米子が近い。 地方都市に近い。 米子市の隣、交通の便が良い。 	<ul style="list-style-type: none"> おいしい食べ物がある。 野菜、果実が安く手に入る。おいしい。 フルーツ。 年間を通じてのフルーツ生産。 	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすい町である。 自然環境がよい。 里地里山。 自然豊か。大山がきれい。 	<ul style="list-style-type: none"> とっとり花回廊。 The Japanの生活体験。 飲食店が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 農業する人が減っている。 誰が指導者、事業承継できるのか。人材Bank的な。 それぞれが個々でやっている感じがする。 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進んでいる。 働く場所が限られる。 若者世代の移住→仕事を探すと米子がHitする。
可能性分析	Strength			Weakness		
	<ul style="list-style-type: none"> 名所もたくさんあるが、町民も知らない人もいる。 農地→山林の地目変更前に譲渡などできないのか。 米子市の隣、交通の便が良い。 分かりにくい制度。 	<ul style="list-style-type: none"> 写真家(廣池さん)とのコラボ。 住所に通称で「JICA村」とかにしてしまおう。 	<ul style="list-style-type: none"> 無料慣れ。 	環境	産業	Threat
			<ul style="list-style-type: none"> 広報、口コミ。 情報の提供。SNS発信。 	<ul style="list-style-type: none"> 竹林の有効活用。 竹あかり。竹切り、企業研修など。 	<ul style="list-style-type: none"> 体験型を増やす。 地権者の理解。研修のような会への参加。 ハローワーク等で「南部」をチェックしてもらう仕組み。例：西部エリアとか 	

「強み」を伸ばし「弱み」を改善するためにできること

具体的に実行していくために検討すべき課題

2025年度 南部町地域のあり方検討委員会 第2回

検討テーマ：③保健・医療・福祉・スポーツ

南部町の「強み」

南部町の「弱み」

現状分析

可能性分析

	Strength	Weakness
スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> 町内にスポーツクラブ(スポnet)があり、スポーツ・健康が振興されている。 スポーツ施設(プール・ジム)がある。 部活動の受け皿が早く準備。 子どもの活躍する場、各種競技がある。 	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ・健康づくり高校生になると関りが少なくなる。 兄弟で同じスポーツしかできない。 医療とスポーツ(健康づくり)の連携。 ジュニアの健康管理不足。 指導者の適正の評価。 健康づくり・スポーツにもっとたくさんの方に取り組んでほしい。第一歩をどうすべきか。
福祉施設	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者施設が充実。 町内に福祉施設(障がい、高齢)が沢山ある。 町内(身近)に介護サービス事業者がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 障がい者施設は沢山あるが、福祉教育(学校)との関りが少ない。 介護サービス担い手不足。 福祉事業が一部の人々に偏っている。 福祉施設(いこい荘)の利用拡充。
健康	<ul style="list-style-type: none"> 子ども食堂3カ所あり。 各協議会ごとに福祉、健康づくりの取り組みがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域への健康づくりアプローチ。 まち保があまり認知されていない。 全地区に子ども食堂がない。
連携	<ul style="list-style-type: none"> 西伯病院(町営)があり、医療が安心。 連携した取組をしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 連携が有機的に結びついていない。 連携、共有。 医(西伯病院)、福連携があまりない。 コントロール者がいない。 個人病院がなくなってきている。
Opportunity		<ul style="list-style-type: none"> 移動手段の問題 福祉の魅力発信。 担い手マッチョ(トレーニング)×介護。新しい取り組み。 SNSでの発信、テノヒラ役場の活用、いろいろな方法でやってみる！！ スポーツ医学の導入。 指導者の研修の強化。

「強み」を伸ばし「弱み」を改善するためにできること

具体的に実行していくために検討すべき課題

2025年度 南部町地域のあり方検討委員会 第2回

検討テーマ：④教育・子育て・文化・多文化共生

南部町の「強み」

南部町の「弱み」

現状分析

- ・少人数故のきめ細やかさ(学校)。
- ・外国人が多い。
- ・都市部に比較的近い。

- ・図書館が2つある。
- ・スポnetがある。
- ・各分野の拠点がある。Ex.しあわせ、JOCA
- ・水泳、体操がある。
- ・教育と子育ての近さ。

Strength

- ・学習塾がない。
- ・人数的、免責的な拠点密度のギャップ。
- ・人数的、免責的な拠点密度のギャップ。
- ・一時預かり(放課後デイサービスのなもの)があれば...
- ・西伯側に拠点の偏り。
- ・店もない。
- ・人口減少。

Weakness

可能性分析

- ・会見にも拠点候補はある。

- ・拠点へのアクセス。

Opportunity

- ・Uターン支援。
- ・協力隊→定住の流れができている。
- ・子どもの見守り人材。

Threat

風通しをよくする。人も、地域も。

「強み」を伸ばし「弱み」を改善するためにできること

具体的に実行していくために検討すべき課題